

今月のテーマ



薬の保管について



病院や薬局でもらった薬をどのように保管していますか？ 使い方や飲み方だけでなく、正しく保管することも大切です。保管方法を間違えると、薬が変質・変性してしまうこともあります。

① 湿気、日光、高温を避ける



- ◆ 特別な指示がない限り、薬は「室温」で保管します。室温とは日本薬局方で1℃～30℃と定められています。車の中や窓に近いところには置かないようにして下さい。
- ◆ 「冷所保存」の指示がある場合は、1℃～15℃（冷蔵庫）で保管して下さい。この際凍結しないように注意して下さい。
- ◆ 「遮光袋」が添付されている薬剤（一部点眼剤や錠剤など）は、遮光袋に入れて保管して下さい。

薬の剤形に応じた保管方法で

注射剤

インスリンなどの注射剤は未開封の場合は「冷所保存」ですが、開封後は直射日光をさけて、室温で保管してください。開封後も冷所保存をすると結露が生じ、上手く使用できなくなる場合があります。

点眼薬

一部点眼薬は「冷所保存」でも開封後は「室温」保存が可能なものもあります。ただし開封後は雑菌などの繁殖の恐れがあるため、1ヶ月を目安に使用してください。

坐薬

「冷所保存」の坐薬は、一度溶けると変形したり、有効成分が偏る場合があります。変形した坐薬は使わないようにしましょう。



